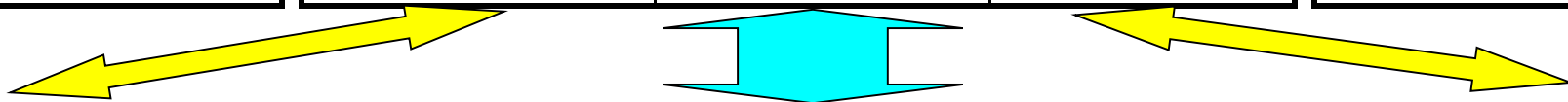


# 平成28年度 学力向上アクションプラン

B票

尼崎市立武庫の里小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○ 全国調査の結果から見られる課題</p> <p>(1) 学習の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語 話の内容を整理・要約する力や表現の工夫を読み取る力が不足している。</li> <li>・算数 情報を整理し、既習の方法を工夫しながら解答に近づける力は徐々に身につけてきている。</li> </ul> <p>(2) 生活や児童の意識について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する意欲はあるが、自分から進んで、発展的な学習に取り組もうとする児童はまだ少ない。</li> <li>・宿題以外の学習に取り組む習慣について、自主学習ノート等活用しているが、今後習慣づける必要がある。</li> <li>・自尊感情や自己有用感をもつ児童の</li> </ul>	<p>○ 校内研究を柱とした授業研究に取り組む【<b>教員指導力向上事業</b>を活用】</p> <p>○ 算数科の授業モデルを見直し、さらに児童の思考力や表現力を伸ばすものにしていく</p> <p>○ 先進校を視察しその授業形態を検証する。授業力の向上に取り組む</p> <p>○ 大学(準)教授を招聘し、授業や指導法について学ぶ</p>	<p>○ 朝学習(計算タイム・読書タイム)の充実</p> <p>○ 「家庭学習のすすめ」を活用した自主的学習の啓発</p> <p>○ 放課後学習の充実【<b>学力定着支援事業</b>を活用】</p> <p>○ 読書力の向上(読書力向上支援員の配置及び図書ボランティアの活用)</p>	<p>○ 若手教員のグループ研修の実施</p> <p>○ 縦割りグループによる特別活動の活性化(さっとこタイム《年間6回》の充実)</p>	<p>○ 全国学力学習状況調査</p> <p>(1) 学力調査 平均正答率 全国レベルと同等に</p> <p>(2) 質問調査用紙(当てはまる+まあ当てはまる)での自尊感情パーセンテージを70%以上にする</p> <p>(3) 授業の内容がわかる[国・算]を80%以上にする</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○ 中学校(武庫中・常陽中)との連携をより意識した教科担任制の実施</p> <p>○ 中学校入学前テストの実施</p> <p>○ 夏季合同研修会の実施(講師を招聘し講演後、教科等での分散会実施)</p>	<p>(1) 講師招聘支援</p> <p>(2) 授業補助支援</p> <p>(3) 放課後等学習支援</p> <p>(4) 学力定着支援</p> <p>(5) 地域人材活用支援</p> <p>(6) その他</p>	<p>1) 算数の授業力向上を図るため、東海学園大学准教授太田誠氏に講師を依頼し指導助言を賜る。(年間3回)</p> <p>2) 3・4年生を対象に算数科の基礎的な学習に加え発展的な内容を加味した学習に取り組ませる(年間25週)</p> <p>3) 3・4年生を対象に水曜日の放課後算数科の基礎的な学習を中心とした学習に取り組ませる。また、夏季休業中に5・6年生の調べ学習の補助及び助言を受ける指導者を招聘する。</p> <p>4) 授業で使用するワークシート及び毎日の家庭学習プリントを作成し、基礎基本の定着を図る</p> <p>5) 育友会図書ボランティアによる図書室整備を充実させる。また、お話しグループ『ベガサス』によるお話し会を開催し、読書への意欲を向上させる。</p> <p>6) 担任と外国語活動指導補助員との同室複数指導により、場面に応じた簡単な英会話を使えるように指導する。外国語の教科化に対応する、教員の指導力向上を図る。</p>	<p>○ 「家庭学習のすすめ」による家庭学習の啓発(予習学習中心に)</p> <p>○ 自主学習ノートによる自主的な学習意欲を育成する</p> <p>○ 全国学力学習状況調査及び市学力テストの調査結果を学校だよりやホームページで公表し、保護者へ啓発して児童の学力向上を図る。</p>